#### 【事例紹介】



## "株式会社フジクラの

健康増進·疾病予防活動"

~社員が活き活きと仕事をしている会社を目指して~

2014年6月3日@アイビーホール青山会館2Fミルトス



株式会社フジクラ

人事・総務部 健康経営推進室 浅野 健一郎

<u>E-mail: kenichiro.asano@jp.fujikura.com</u>

## 本日の話の流れ

#### 1. 健康経営

- ✓ 健康経営の経緯と目的
- ✓ 健康経営を阻む5つの壁
- 2. 健康増進・疾病予防活動の概要
  - ✓ 仕組みと組織構成
  - ✓ データ分析
  - ✓ 階層別プログラム
- 3. 今までの活動から見えてきた効果
  - ✓ 健康意識・行動変容の側面から
  - ✓ 健康データの側面から
  - ✓ 活き活き度の側面から



## 株式会社フジクラ

【社名】株式会社フジクラ Fujikura Ltd.

【本社所在地】東京都江東区木場1-5-1

【代表者】取締役社長 長浜洋一

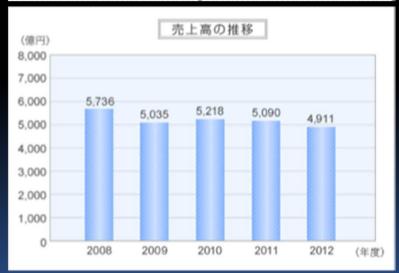
【創業】1885年(明治18年)2月

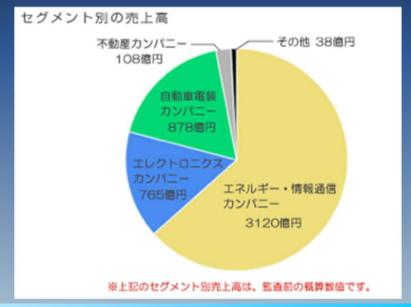
【設立】1910年(明治43年)3月18日

【資本金】530億円(2013年3月31日)

【従業員数】52,409名(連結,2013年3月31日)









### エレクトロニクス・自動車関連製品





健康経営の経緯と目的

## 健康経営



## 社員の方々の健康

#### 個人の幸せ、個人と企業のリスクマネージメント、企業の収益

- 個人と家族のQOL(Quality of Life)の視点
- 労働安全衛生法における職域での安全衛生の視点
- 労働契約法における職域での安全・健康配慮の視点
- 企業の生産活動における労働生産性の視点
- 企業の新陳代謝におけるイノベーション創出の視点
- 企業・個人の保険料(医療費)負担の視点
- 課題先進国日本の社会保障課題の視点(年金・医療費)



# 取り組みの経過

実施年	主な実施内容
2010年度	健康増進・疾病予防を重点テーマに社内決定
2011年度	コーポレート企画室内にヘルスケア・ソリューショ ングループを設置。予防プログラムの自社開発開始
2012年度	新たな全社健康推進体制を整備開始 一部地区を対象に予防プログラムの試運用開始
2013年度	全社健康推進体制の確立 1次予防から3次予防までを展開



# 私が目指す経営(現社長)

#### [基本]

- "第三の創業"の企業風土を受け継ぎ協力に推進する。
- ◎ "収益性を重視"し、健全な成長を図る。
- 目標を共有し、"チームアプローチ"でゴールを目指す。

[ゴール イメージ] お客様からは感謝され、

社会からは高く評価され、

社員が活き活きと仕事している



## フジクラの健康経営

### 一健康は経営課題一

フジクラグループでは、従業員の健康を重要な経営課題と捉え、 経営として取組むことを明言して、会社・社員・健保組合一丸 となって、健康増進・疾病予防に取組んでいます。

#### 【フジクラグループ健康経営宣言】

2014年1月1日

フジクラグループは、社員の健康を重要な経営資源の一つであると捉え、個人の自発的な健康活動に対する積極的な支援と、組織的な健康活動の推進で、「お客様からは感謝され、社会から高く評価され、社員は活き活きと仕事をしている」企業グループを目指します。



## 課題認識ときっかけ

- 中期計画立案プロジェクト
  - 事業計画を立案・・・でも実現させるのは人

心身ともに健康でないと実現させることはできない

- 会社のゴールイメージ
  - 活き活きと仕事している・・・かけ声だけでは実現 できない

活き活き化についても具体的な施策・計画が必要



## 課題認識の特徴(経営視点)

- 事業活動の活性化への投資
  - 事業計画の達成に向けての人財観点の施策
- 企業存続への投資
  - 新規事業創出・新陳代謝促進に向けた人財開発

経営の中長期課題の実現向けたアプローチ



# しかし、当然のごとく順風満帆にすすんだわけではなく・・・

そこには、幾重にも鉄壁が連なった、

いばらの道が続いていた・・・

一見すると・・・



実際に体験した

## 健康経営を阻む5つの壁



法 経 疑 組 営 織 律 関 暗 層 心 鬼 壁 壁 壁 壁 壁



フジクラの

健康増進・疾病予防活動の概要



## 「活き活き」を目指して

• 活き活きした状態とは?

【職場でのポジティブ心理学】

#### ワークエンゲージメント

- 1. 仕事に誇り(やりがい)を感じ
- 2. 熱心に取り組み
- 3. 仕事から活力を得て活き活きしている状態

「日本生産性本部:健康いきいき職場づくりフォーラム」資料より転用



## 「職場の活き活き」 ワークエンゲージメントの実現には?

### 職場(家庭)の環境

【働きやすい就労環境】【チームアプローチ】【情報共有】

相互依存

個人の意識と知識

【セルフケア】 【啓発活動】 【正しい情報提供】

相互依存

体 (フィジカル) の健康

相互依存

心(メンタル) の健康



# 予防活動のスキーム

個人へのアプローチ



職場へのアプローチ

体(フィジカル)の 予防活動



りワークショックラーのきいきいきがあった。

心 (メンタル) の 予防活動

データの突合分析(健康状態・疲労・睡眠・活動・・・)



# コラボヘルス 仕組みと組織構成



# 継続的な活動の仕組み一投資効果の指標化一

多様な側面から健康推進活動の投資効果を指標化し、経営層と共有化してPDCAサイクルを回して一過性のイベントにとどまらず、活動を効果的且つ効率的、継続的に運用してくシステムを構築しています。

#### 【方針】

#### 【主な指標項目】

- 個人が「活き活きと仕事や 生活ができる」ことを目指す
  - ★心身の健康
  - ★環境整備
- 会社が中長期の視点で「投 資回収」できることを目指す
  - ★費用対効果
  - ★対処より予防

- 経営コストの視点:医療費、労働生産性等
- 社員の健康状態の視点:

健康マップ(リスクマップ)、有所見率、メタボ対象者数、喫煙者率

- 健康増進プログラムの運用の視点:
  - プログラム登録者率、サイト利用率、イベント参加率等
- 外部の視点:健康寿命を伸ばそうアワード、健康経営評価



### 健康推進体制(コラボヘルス)

### 一健保組合と企業が共創一

フジクラでは、社内の既存の枠組みである労働安全衛生、産業保健スタッフ等とは別に、健保組合を始め、社内外のステークホルダーと健康維持・増進専門のコラボレーション環境を整備して活動の一元化・効率化に取組んでいます。

- ◆ 健康推進連絡協議会:活動の計画・分析・経営への提言
  - ◆ 健康保険組合・人事・総務部・産業保健スタッフ・コーポレート企画室
- ◆ 健康推進委員会:活動の協議・承認
  - ◆ 各カンパニー及び労組の代表、委員長(人総長)副委員長(C企画)
- ◆ 健康増進活動サポーター会議:社員の意見収集、活動の補佐
  - ◆ 健康推進委員の推薦により、各カンパニー・労組から選出



## 健康推進体制(コラボヘルス)

## 一体制図一

網羅的に各組織が協働して、健康増進・疾病予防活動を推進しています。



施策の提言活動の報告

方針・活動の指示

健康推進 連絡協議会

#### 【関係部門代表】

- ✓ 健康保険組合
- ✓ 人事・総務部
- ✓ 産業保健スタッフ
- ✓ コーポレート企画室

(新設)

コーポレート企画室 ヘルスケア・ ソリューショングループ

一次予防モデルを 開発及び推進 活動案の 協議・決定 具体的 活動計画立案

試案提示

活動・施策 への意見

#### 【組織代表】

- ✓ 各カンパニー
- ✓ スタッフ部門
- ✓ 労働組合

## 健康推進 委員会

サポータ任命 活動補佐

活動の補助

健康推進 サポーター会議

#### 【社員代表】

- ✓ 各カンパニー
- ✓ スタッフ部門
- ✓ 労働組合



散在した健康データの一元管理による

## データ分析(データヘルス)



# 目標の共有化ーデータ分析と目標設定ー

フジクラでは、健康保険組合にあるレセプトと個人の健康診断結果を分析し、状況の把握と目標設定、効果検証を行っております。将来的には、これらの突合分析を始め、健康活動、日々のバイタルデータを含めた総合的な分析の技術開発を行っています。

【健康保険組合】

レセプトデータ 特定健診データ 【人事・総務部】

法定健診データ 2次健診受診率等 【社員】

法定外健診データ バイタルデータ等

データ突合を含めた分析



## 不調の兆し? (予防の視点)

- √疲労感(フィジカル&メンタル)
- ✓不眠/睡眠パターンの乱れ
- ✓日々の活動の不活発化
- ✓コミュニケーションの不活発化

慢性化すると危険信号



何らかしらのモ ニター(見守 り)手段が必要



## 分析例 1 - リスク者分析(抽出)-

健康診断結果の複数のデータから複合的に判断しリスク者を特定し階層化。抽出者のレセプト情報と突合させることで治療の状況や、リスクの大きさを加味して、重症化予防、情報提供、受診勧奨等を実施しています。

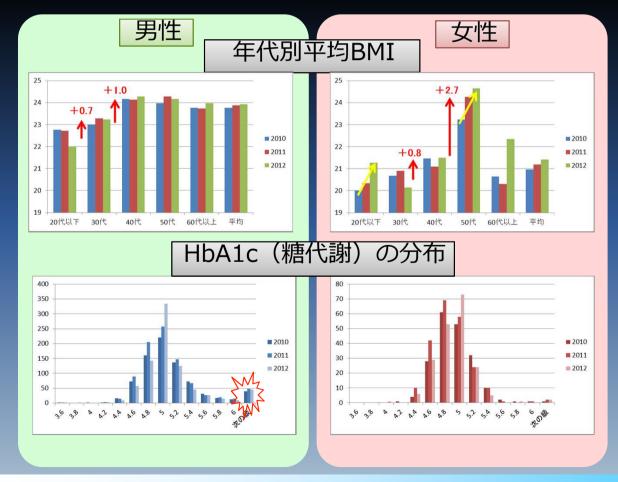
リスク 概保	类付替号	主病名	28/4	級椅	身長	体重	福华体系的	iat.
,	4178	慢性緊急病	現在賢成進士後中であるが、英国白(3-)。自己87/64と収血圧みられるが士後の影響が考えられる。空間時点着(110) とやや高めであり、今後者収収以降への注意が必要である。高音異常自は治療中であるが、中枯燥か(234)。LDLコレステロール(220)と実性であり、英級性も(8)と変化者を内容の改善が必要と考えられる。		172	\$1.3	93.1	-5.8
2	4173	環保病性腎症	ヌ蛋白(1+) eDFR 435 糖菜株で治療中であるが、採験(4+)※養料血糖(254)+bA(4/3)とコントロール不良、免腎機能が含むからからかり、糖菜株性質也も関心とと考えられる。第三年の実施の療によりコントロールされているが現底が見る第三年の変化がある。 東北洋石炭化あり、資料解乳温酸液をあられており、変差が定認料受験の必要性がある。		161.5	60.4	52.4	5.2
3	3118	性性関係病	深重白(1+)。40円(27点)と脊機能障害が危険される。東亜圧は内閣治療中であるにもかかわらず血圧(105/93)と高く コン・ロール不良	*人	169.9	53.5	63.5	0.6
4	3249	地灰实生育症	厚重白(1+)、確保保治療中、高生圧治療中であるが空間時点難(137)、+bA1g(7)と高め、確保保性腎症の可能性あり	本人	166.5	61.6	62.5	-1
5	3523	模性緊緊痛	深重白(1+)x6FR4694、であり慢性質減終の状態である。高血圧症は現在内能が使中でありコントロールはよい。中性能数(5)だと取首異常、y一口IPDOSと戸籍動質常があるが毎日の数項搭載の影響が大きいと思われる。明確限もあり数額硬化の速度も考えられる。	本人	166.1	753	62.3	19.7
6	3553	後性緊縮病	実蛋白(1+)。 血圧(1)4/6) もあるが未治者の状態であり管理物質者が、中性関係(346) 占額質異常、 $\gamma$ —GIP(96)と 計量能異常があるが毎日の飲治者関によるものと思われる。実施型もあり取解後化が進展も考えられる。	*人	180.3	85.4	71.5	19.4
7	3151	<b>施拉斯斯</b> 病	■ 大学	本人	167.5	74.2	61.7	20.4
8	4195	地现底·地灵病性網膜症	深蛋白(一)であるが無容殊大治療、空間特血糖(30分)、HAR(d14)、原始(4-)、無溶病性療養症の疑い語り、血糖コントロール不食。中日前状(56-1)、特質の期的肝、心質支上の心能健康あり、受煙器もあることから、動詞強化の進度との企業イベントの発症リスクが実にと考えられる。数治時々だが3合以上	*人	ma	53.4	54.4	7.8
9	3490	地民族性智症	深葉白()であるが、60FR(4907)、魏家病治療中であるが、空復時血糖(144)と高Cコントロール思い、心具種助と、証 収塞の摂性あり動詞後との進展と心血管イベントの発症リスクが高いと考えられる。	*人	165.8	51.4	925	15.1
10	3513	<b>地灰森竹智在</b>	要深株沙療中、高血圧治療中ではあるが、虚血性心疾患の微性もあり、尿蛋白(一)だが40°円(44%)と思く、趣深株性 質性への移行が考えられる。	本人	161.5	533	52.4	10.3



## 分析例2 一傾向分析(経年推移)—

健康診断データ分析

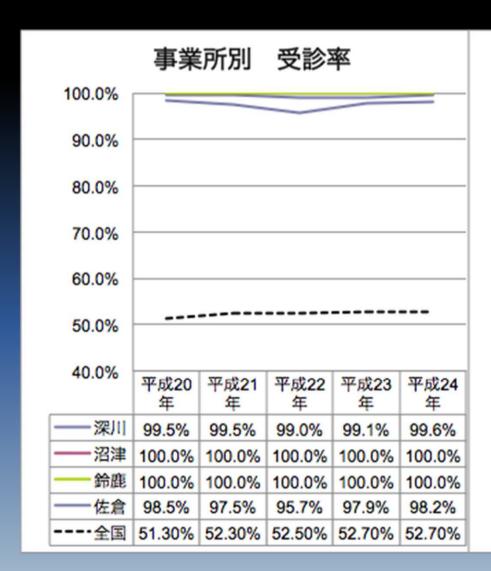
過去3年間(2010年~2012年)の定期健康診断結果

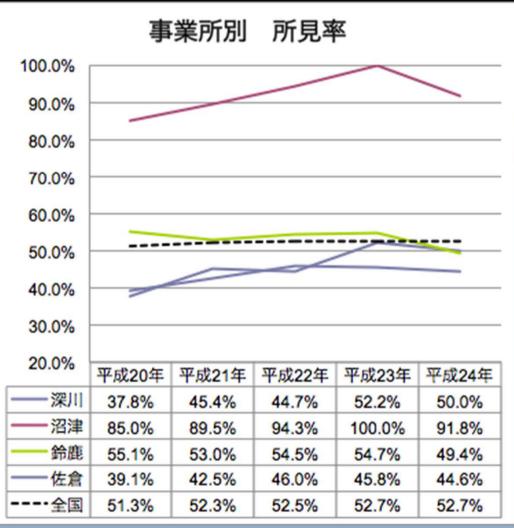




## 分析例 2

### 一事業所別傾向分析1一



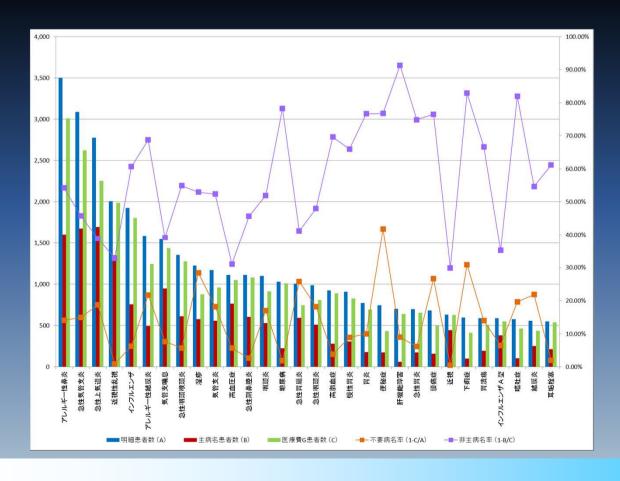




## 分析例3

#### -医療費分析-

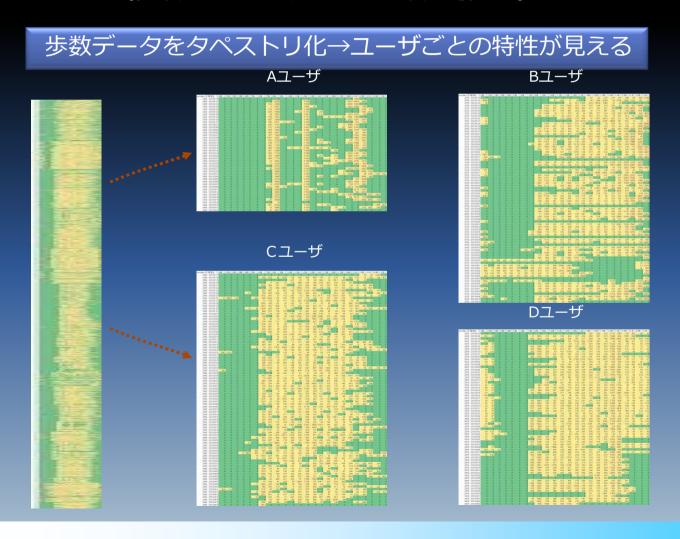
レセプトから、疾病傾向、医療費へのインパクト等を分析して、具体 的施策の立案に反映させています。





# 分析例4 一活動分析—

日々の活動データ(歩数タペストリから活動推測)





全社員を対象とした

## 階層別プログラム



## 予防への取組み

### 一階層別各種施策一

フジクラでは、健康増進・疾病予防活動において1次予防の領域から重症 化予防の3次予防まで全てのステージの予防活動に取組んでいます。 リス ク階層やリスク内容・治療状況に応じて、具体的施策を実行しています。

階層)

中リスク層

低リスク層

健康層

【健康支援策】

リスク疾病に応じた 重症化予防プログラムの提供

キャンペーンコール・情報提

保健指導

受診勧奨・精密検査

キャンペーンプログラム(節酒、禁煙

健康増進プログラムの提供 イベントの開催(歩行ラリー等)



## 階層別健康支援策例と参加率

	対象者 人数割合	階層別健康支援策例	参加率
高リスク層	5%	疾病別重症化防止 プログラム	80%
中リスク層	10%	心疾患 キャンペンコール	100%
低リスク層	15%	節酒 プログラム	10%
健康層	70%	健康増進 プログラム	90% (全社員)



# 【具体的施策のご紹介1】 「高リスク層」



# 重症化予防プログラムー高リスク層施策一

呉モデルの成功例を導入しています。

#### 【実施形態】

委託事業者 フジクラ 業務委託 参加同意 **DPPヘルスパートナーズ** 従業員 健診データや 看護師・保健師 レセプトデータの プログラム プログラム プログラムの実施 事業報告 の実施 分析、戦略の立案 実施 連携・報告 治療 かかりつけ医/専門医

※事業実施者は、国家資格をもつ看護師等を中心に、エビデンス(診療ガイド ライン)とかかりつけ医の治療方針に基づいた指導を行い、結果(アウトカム:改善成績)をかかりつけ医と医療保険者に提供しています。



# 【具体的施策のご紹介2】 「中リスク層」



# キャンペーンコールー中リスク層施策一

リスクに応じて、費用対効果の高い施策を実施しています。

#### 【実施形態】



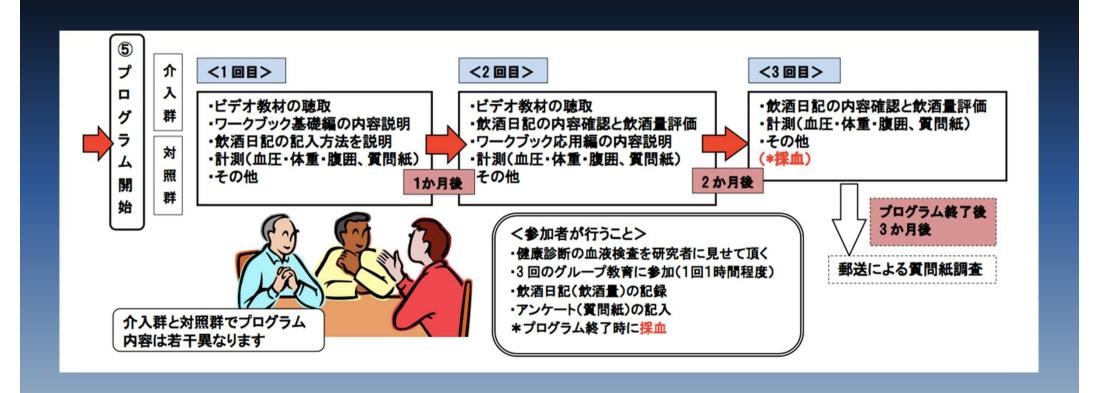


# 【具体的施策のご紹介3】 「低リスク層」



### キャンペーンプログラム ー低リスク層施策一

飲酒量が多く肝臓機能が低下傾向にある人へ節酒プログラム

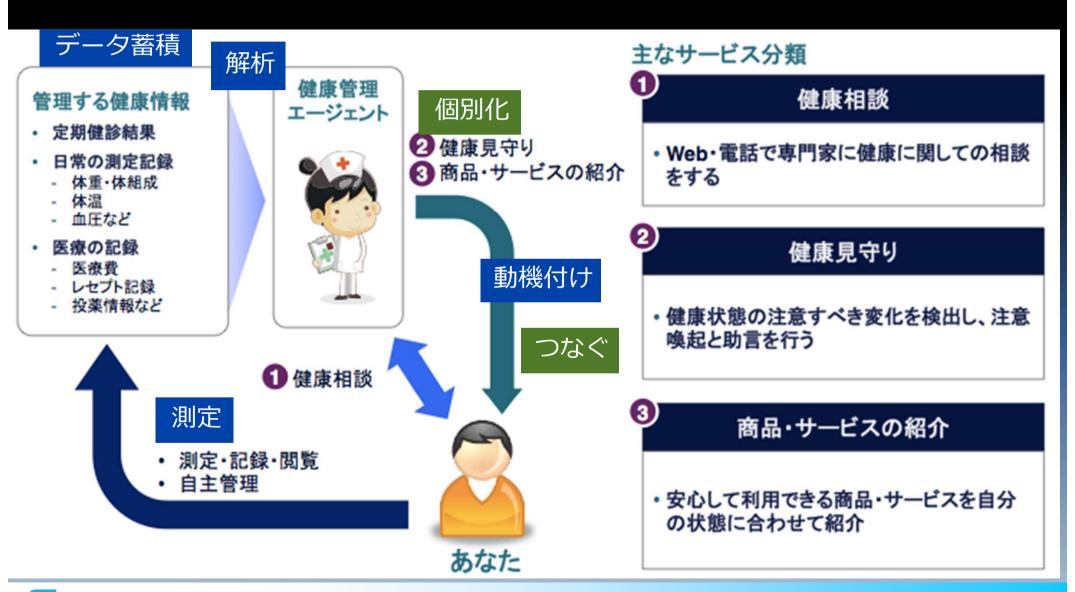


# 【具体的施策のご紹介4】 「健康層」



### 提供サービス

具体的には体重、血圧、健診結果等を情報一元管理により、利用者の利用価値にフォーカスした、個人に適合し、かつ必要とされる健康見守り、商品・サービス紹介などのソリューションを提供します。





確実に回し続けるために、ソリューション提案のタイミングを想定し、その 人の状況を「見守り、飽きさせない」しくみも構築しています。

### ソリューション提案のタイミング

- ✓ 測定値に意図しない変化が見えた時
- ✓ 提案が実行されなかった時
- ✓ 実行したが、測定値変化が想定と違う時
- ✓ 測定値が更新されなくなった時
- ✓ 解析結果に変化があった時
- ✓ 新しいソリューションが追加された時
- ✓ 個人別イベント時

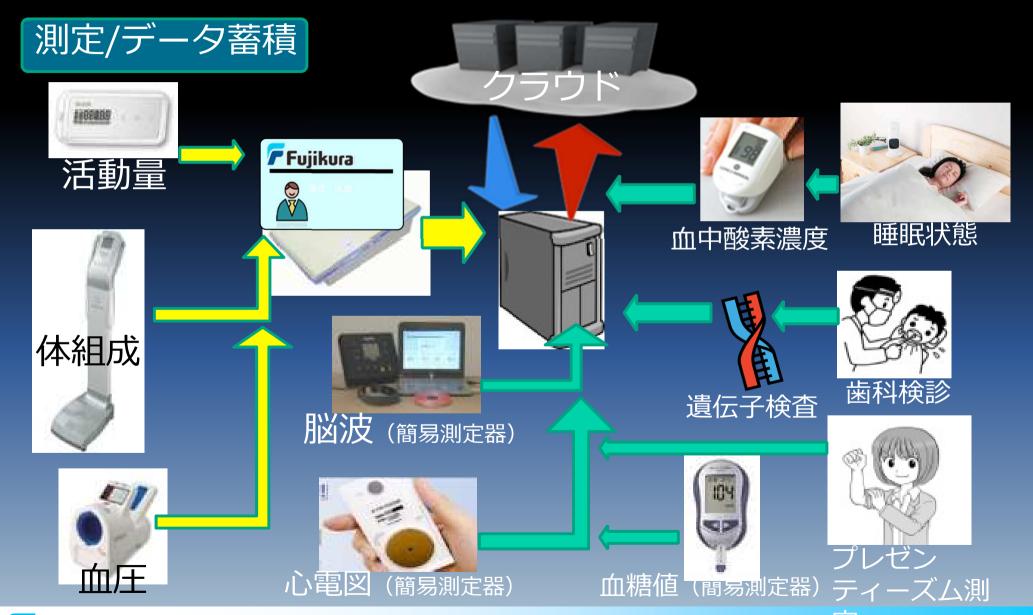


見守り、飽きさせない



### 測定/データ蓄積

体組成、血圧、活動量は自動でデータを蓄積するシステムを導入し、遺伝検査、プレゼンティーズム測定等、独自性のある項目も実施して、効果検証を実施していきます。

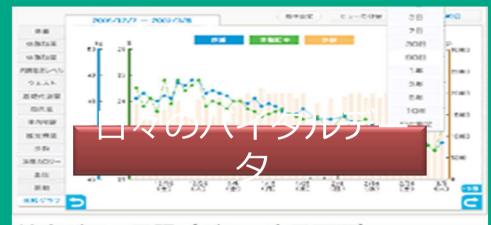


### 見える化ページ

個人専用の健康ページサイトを立ち上げ、個人の健康診断データ、日々の 測定データ、将来予測等の健康情報を見える化しています。

#### 見える化 (健康マイページ)













### 情報提供カテゴリ

様々な健康増進サービスをカバーする予定ですが、サプリや健康食品等のサービスは若干遅れて提供していく予定です。

#### 運動



### 食事(摂取)



#### その他



# 【具体的施策のご紹介5】 「こころの予防施策」



### 「健康いきいき職場づくり」 職場の社会心理的「資源」を高めることから

#### 仕事の負担

量的負担 質的負担 身体的負担 情緒的負担 対人関係 役割葛藤 ワーク・セルフ・バランス(ネガティブ)

#### 仕事の資源

作業 レベル 仕事のコントロール 仕事の意義 役割明確さ 成長の機会

部署 レベル 上司の支援 同僚の支援 経済地位/尊重/安定報酬 上司のリーダーシップ 上司の公正な態度 ほめてもらえる職場 失敗を認める職場

事業場レベル

経営層との信頼関係 変化への対応 個人の尊重 公正な人事評価 キャリア形成 ワーク・セルフ・バランス (ポジティブ) 健康障害プロセス



心身の健康

従業員のいきい き(ワーク・エンゲイ ジメント)

活性化プロセス

職場のいきいき (職場の一体 感)

ハラスメント防止

ハラスメントの ない職場



「日本生産性本部:健康いきいき職場づくりフォーラム」資料より

# 健康いきいき職場づくりワークショップ

いきいき職場つくり について学ぶ



管理職が実施するプランを決定する

グループでいきいき職場プランを考え、発表する

※管理職は議論には歯参加しない

担当者を決めて改善を実施

健康いきいき職場づくりワークショップは、従業員参加で 職場をいきいきさせる職場アプローチの方法



# ワークショップのポイント

- ✓ 集まり話をするだけで職場の仲間同士のコミュニケーション量が増える(仲間意識)
- ✓ 自分たちで自分たちの目標とする職場を決められる (決定権)
- ✓ 自分たちでできることを考える(効用感)
- ✓ 今できていることを更に伸ばす視点(欠点を探すのではない)(ポジティブシンキング)

### 「内発」と「自律」に「社会性」をプラス



健康意識と行動変容の側面から

# 実際の活動から 見えてきた成果



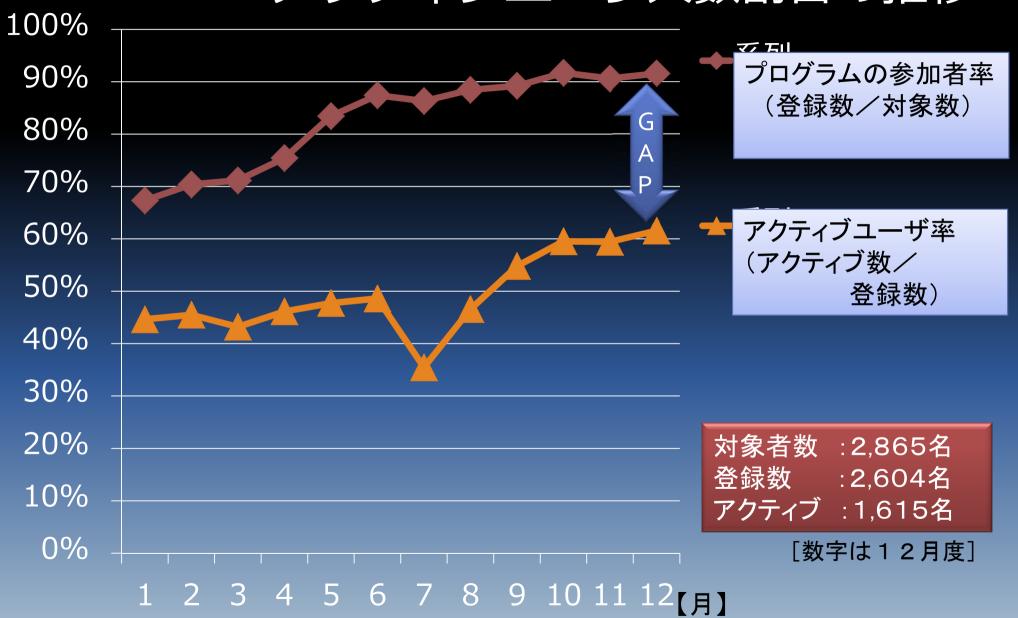
# 参加人数向上の推移



経営トップメッセージ



### プログラム参加者と アクティブユーザ人数割合の推移



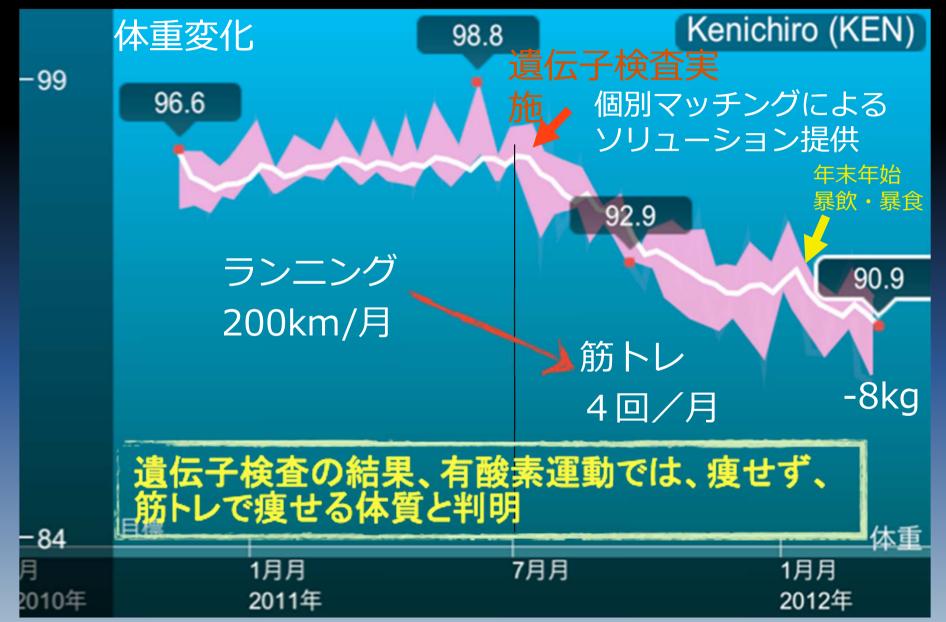


全社員を対象とした

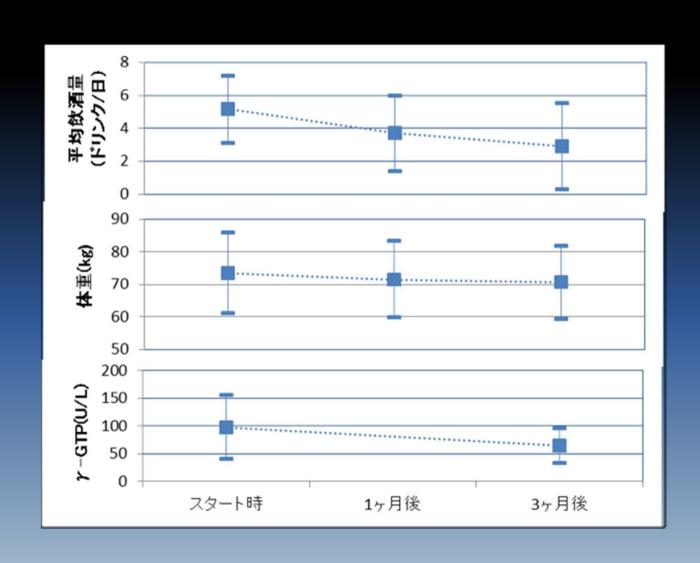
## 健康データの側面から



個別マッチングエンジンが実現すると、数ある健康増進サービスの中から、 その個人に必要かつ有効なソリューションが提供可能となります。



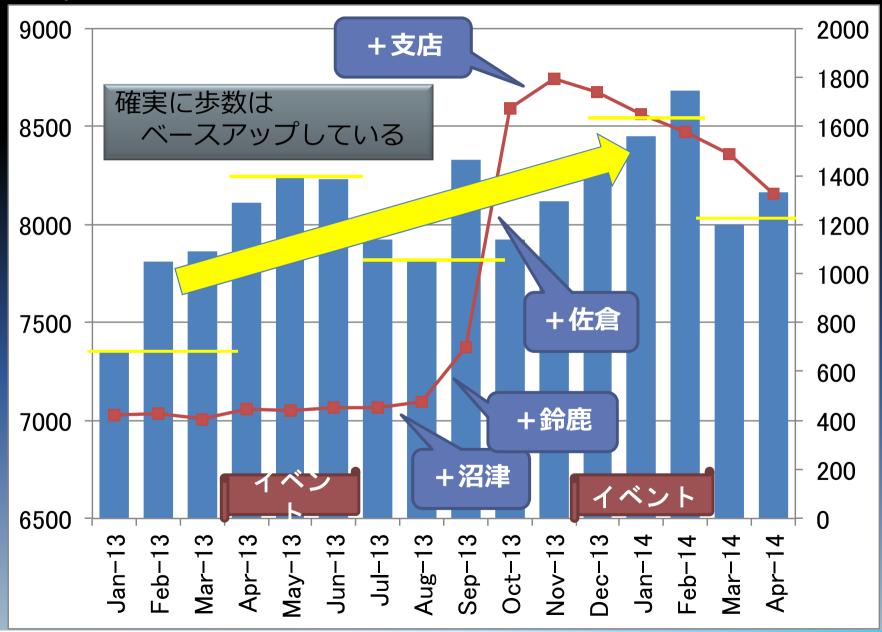
# 節酒プログラムの効果





# 数計効果







### 歩数イベント期間中 年代別平均歩数

歩数データがある日で集計

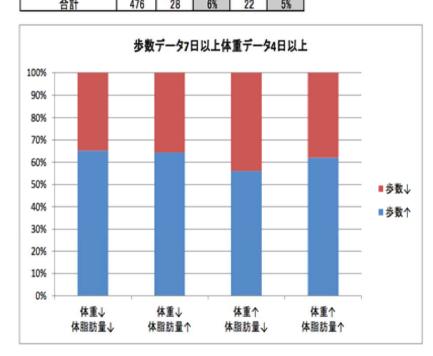




## 効果例 (体重・体脂肪変化)

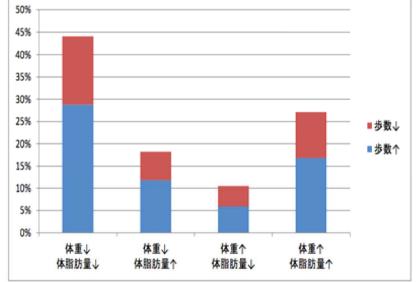
#### 【10ヶ月間追跡】

歩数データ7日以上体重データ4日以上			歩数↑		歩数↓	
	体重↓体脂肪量↓	210	137	65%	73	35%
	体重↓体脂肪量↑	87	56	64%	31	36%
	体重↑体脂肪量↓	50	28	56%	22	44%
	体重↑体脂肪量↑	129	80	62%	49	38%
	A÷L	470	00	00/	00	EW





100% 歩数データ7日以上体重データ4日以上 45% 40%

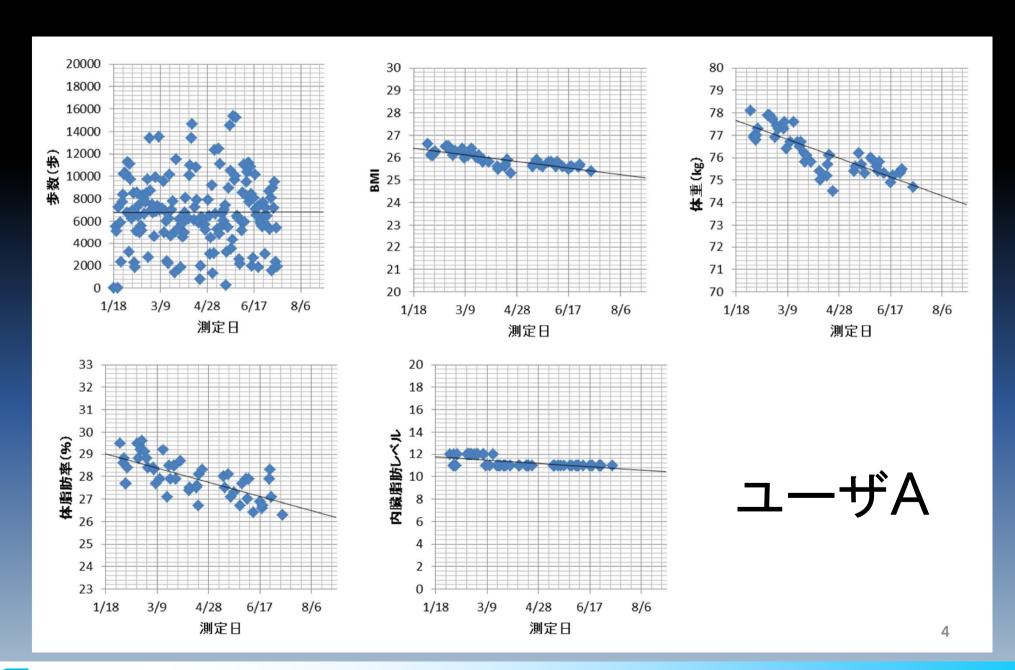


# 効果例(BMIとの関係)





# 効果例 (肥満・運動不足・消極的)





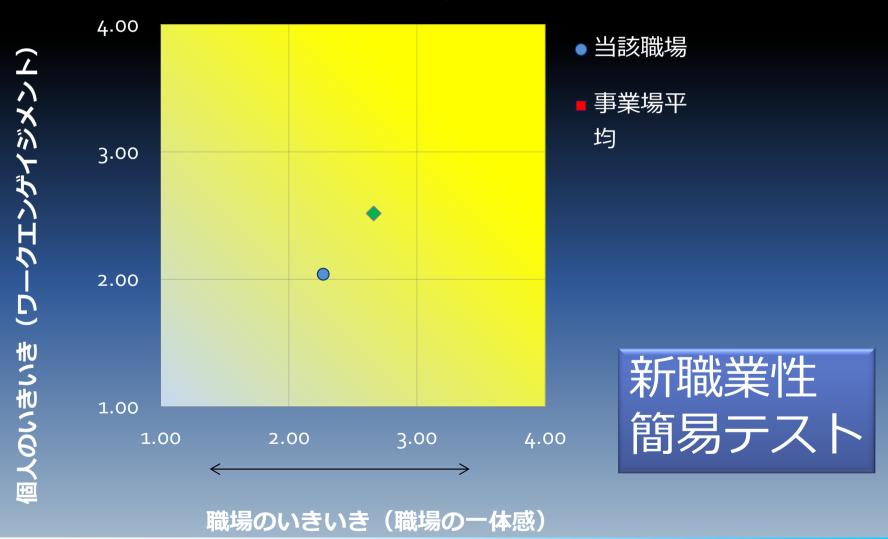
職場を対象とした

## 活き活き度の側面から



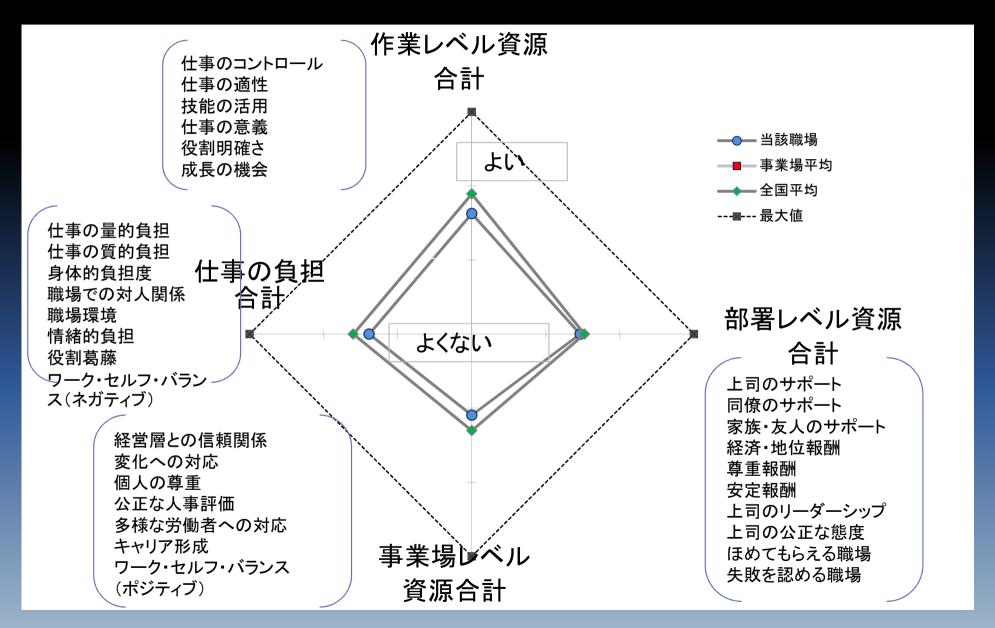
# 職場診断結果例1







### 仕事の負担と資源のレーダーチャート





# 今後の展開



## 今後の展開 一対象者の拡大一

2015年度には、被扶養者(ご家族)まで対象者を拡大していきます。



# 今後の課題



# 今後の課題

- コ効果指標の確立
  - ✓ 費用対効果の算出
  - ✓ 投資対効果の見える化

各種指標の蓄積と分析

- □効果的な行動変容の手法確立
  - ✓ 健康層を如何に維持・増進活動につなげるか
  - 健康活動の習慣化の支援手法

PDCAを 継続的に回す



### これらの活動が厚労省殿から評価

✓ 厚生労働省保険局の「先端事例集」に掲載 「被用者保健におけるデータ分析に基づく保健事業事例集 【第一版】」(データヘルス事例集 2013年9月)

✓ 厚生労働省 「第二回健康寿命をのばそう! アワード」で厚生労働省健康局長優良賞を受賞

「Smart Life Project」 (2013年11月)







## ご清聴ありがとうございました

